

2016年3月期連結業績 および 2017年3月期連結業績予想

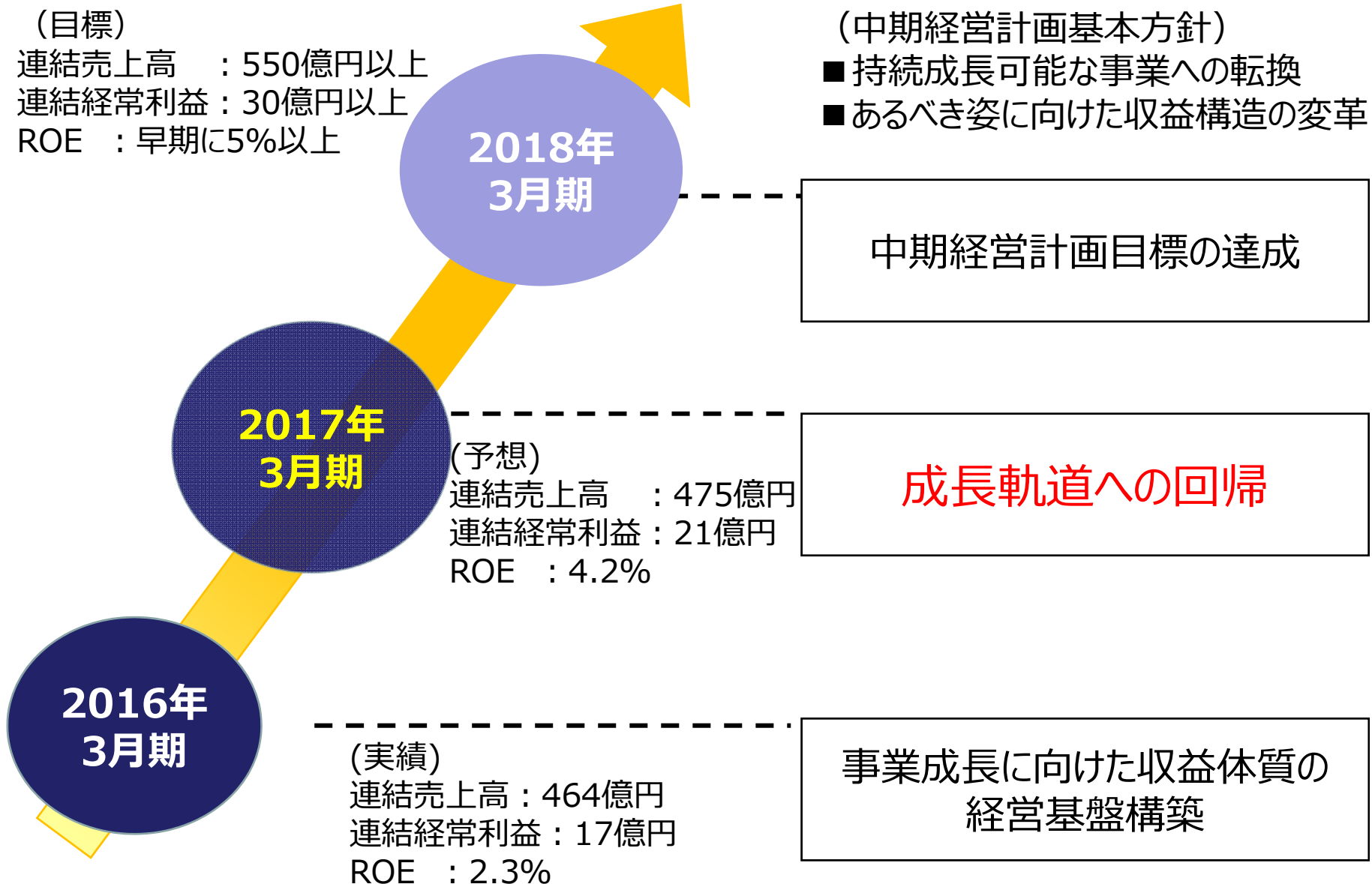
2016年5月19日

サクサ ホールディングス株式会社

＜将来の見通しに対する記述の注意事項＞

本資料に記載されている業績予想、将来予想については、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合がありますのでご承知おきください。

中期経営計画の各年度の位置づけ



■ 2016年3月期 連結業績概要

1. 主な取組み（事業拡大）
2. 連結売上高の主な増減内訳
3. 主な取組み（経営基盤の強化）
4. 連結営業利益の主な増減内訳
5. 連結損益実績
6. 連結貸借対照表
7. 連結キャッシュ・フロー

本資料に記載されている金額および比率は表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

1. 主な取組み（事業の拡大）

2016年3月期連結業績概要

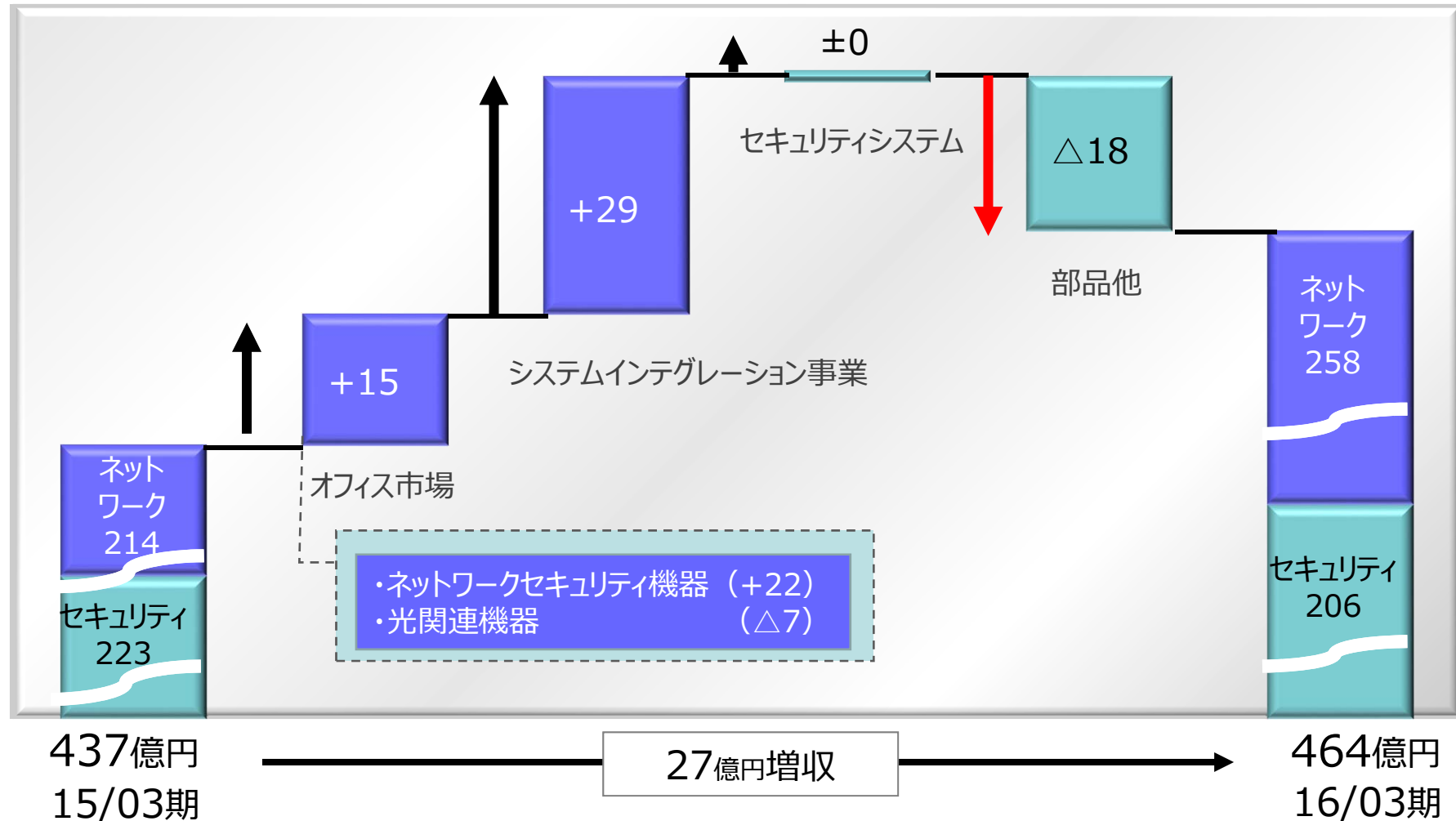
1. オフィス市場	<ul style="list-style-type: none">① 「OfficeAGENT」シリーズの拡充 小規模オフィス向けIP対応キーテレホンの機能を強化したビジネスコミュニケーションシステム「ActysⅢ（アクティスⅢ）」の発売② ネットワークセキュリティへの関心の高まりに対応した「UTM（統合脅威管理アプライアンス）SS3000」の拡販③ 法人向け光アクセスサービス「サクサ光」とサクサ製品のワンストップ提供
2. システムインテグレーション事業	<ul style="list-style-type: none">① VoIPソリューションの提供② 交通事業者向けシステムの提供③ 企業向けデータ連携ソリューションの提供④ 画像解析技術や画像圧縮技術を活かした長時間録画やクラウド対応したネットワークカメラ等の映像ソリューションへの展開
3. EMS/DMS	完成品加工受託領域の拡大

2. 連結売上高の主な増減内訳

2016年3月期連結業績概要

アミューズメント市場向け部品加工受託等の減少はあるものの、ネットワークセキュリティ関連機器の受注増やシステムインテグレーション事業の拡大により、前期比6.2%増収を達成

(単位：億円)



3. 主な取組み（経営基盤の強化）

2016年3月期連結業績概要

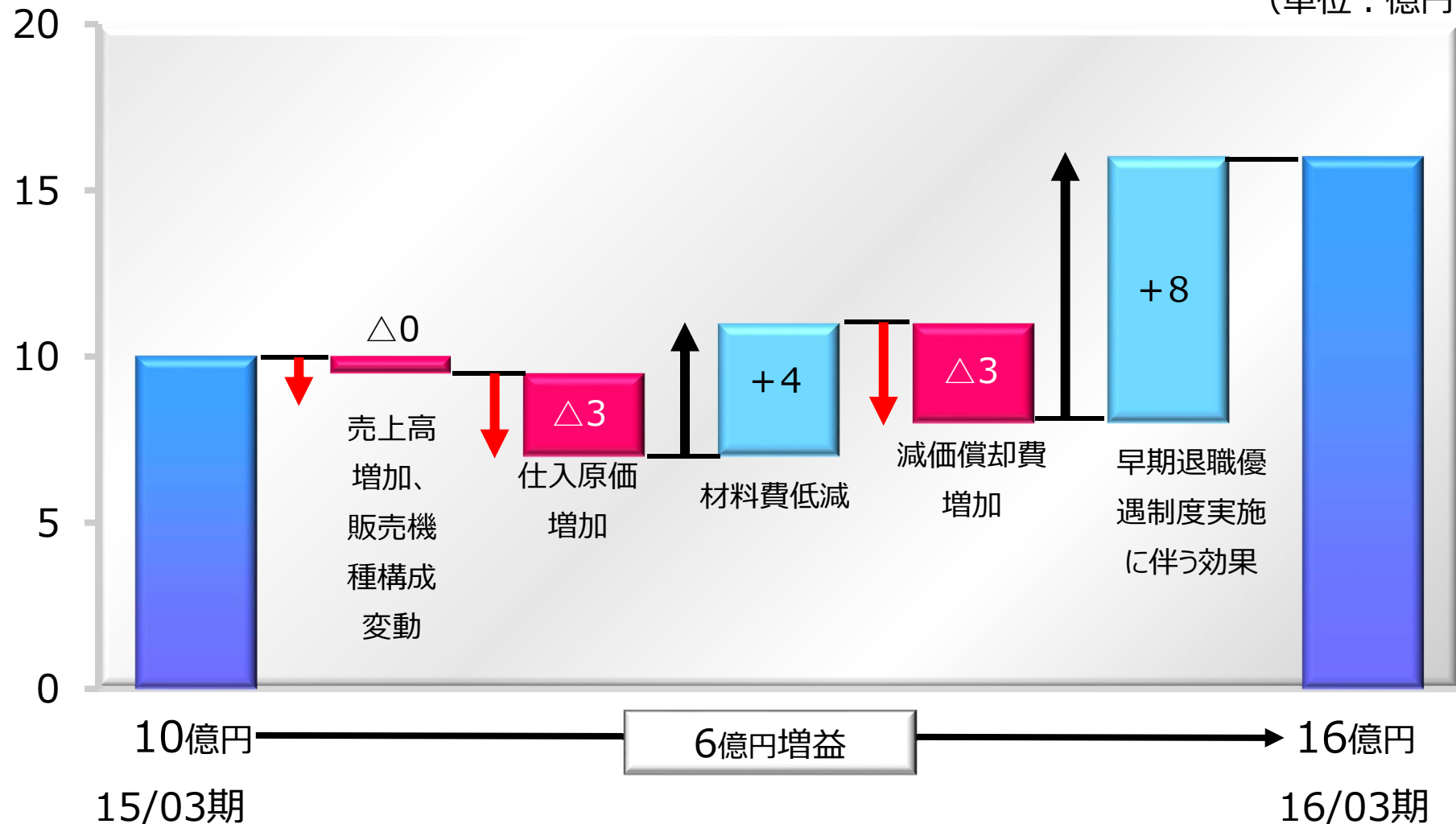
<p>1. グループ機能の最適化</p>	<p>①グループガバナンスの強化とスピードある事業推進体制の確立（4月）</p> <p>②グループ内生産戦略機能の強化（4月）</p> <p>③修理業務および販売保守業務効率化のためのグループ再編の実施（4月、7月）</p>
<p>2. 財務体質の強化</p>	<p>①資本および資産効率の向上</p> <p>②資金効率の向上</p>
<p>3. 要員の適正化</p>	<p>①人材の質的転換</p> <p>②人事諸制度(早期退職優遇制度)を活用した要員の適正化</p>

4. 連結営業利益の主な増減内訳

2016年3月期連結業績概要

早期退職優遇制度実施に伴う効果や材料費低減活動効果はあるものの、円安による仕入原価や新商品投入に伴う減価償却費の増加により、6億円の増益にとどまった

(単位：億円)



5. 連結損益実績

2016年3月期連結業績概要

経営構造改革実施に伴う特別損失の計上はあるものの、連結当期純利益は2億円の増益を達成。また、増益に伴いROEは2%台に向上

(単位：億円)

	15/3期実績	16/3期実績	増減	増減
	(A)	(B)	(B-A)	比率
ネットワークソリューション分野	214	258	44	21%
セキュリティソリューション分野	223	206	△17	△8%
売上高	437	464	27	6%
営業利益	10	16	6	60%
経常利益	9	17	8	89%
当期純利益	3	5	2	67%
1株当たり当期純利益	4.89円	8.86円	—	—
ROE	1.3%	2.3%	1.0%	—
配当	3円	(予定) 3円		

6. 連結貸借対照表

2016年3月期連結業績概要

開発効率化等による資産の減少で11億円、早期退職優遇制度実施等に伴う負債の減少で4億円、その他有価証券評価差額金等の発生による純資産の減少が7億円あり、総資産は11億円減少
(単位：億円)

資産の部	15/3期末 (A)	16/3期末 (B)	増減 (B - A)	主な増減の要因
流動資産	237	252	15	売上債権等の増加
固定資産他	199	173	△26	無形固定資産の償却による減少 退職給付信託設定に伴う投資有価証券の減少
資産合計	437	426	△11	
負債・純資産の部	15/3期末 (A)	16/3期末 (B)	増減 (B - A)	主な増減の要因
流動負債	126	119	△7	短期借入金等の減少
固定負債	82	85	3	長期借入金の増加と退職給付に係る負債の減少
負債合計	208	204	△4	
純資産	229	222	△7	その他有価証券評価差額金等の減少
負債・純資産合計	437	426	△11	
自己資本比率	52.0%	51.8%	△0.2%	

7. 連結キャッシュ・フロー

2016年3月期連結業績概要

投資活動に伴う支出はあるが、当期純利益および減価償却費の計上により現金及び現金同等物は9億円増加

(単位：億円)

	15/3期末	16/3期末
A. 営業活動によるキャッシュ・フロー	29	24
税金等調整前当期純利益	8	11
減価償却費	25	28
運転資金の増減	△5	△ 5
その他	1	△ 10
B. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△26	△ 17
設備投資支払額	△18	△ 17
その他投資活動	△8	-
フリー・キャッシュ・フロー	3	7
C. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△3	2
現金及び現金同等物期末残高	63	72

■ 2017年3月期 連結業績予想

1. 持続成長可能な事業への転換の取組み

集中事業の推進加速(オフィス、システムインテグレーション市場)

EMS/DMS事業の取組み

2. 経営基盤の強化に向けた主な取組み

3. 連結売上高予想

4. 連結損益予想

5. 投資計画

本資料に記載されている金額および比率は表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

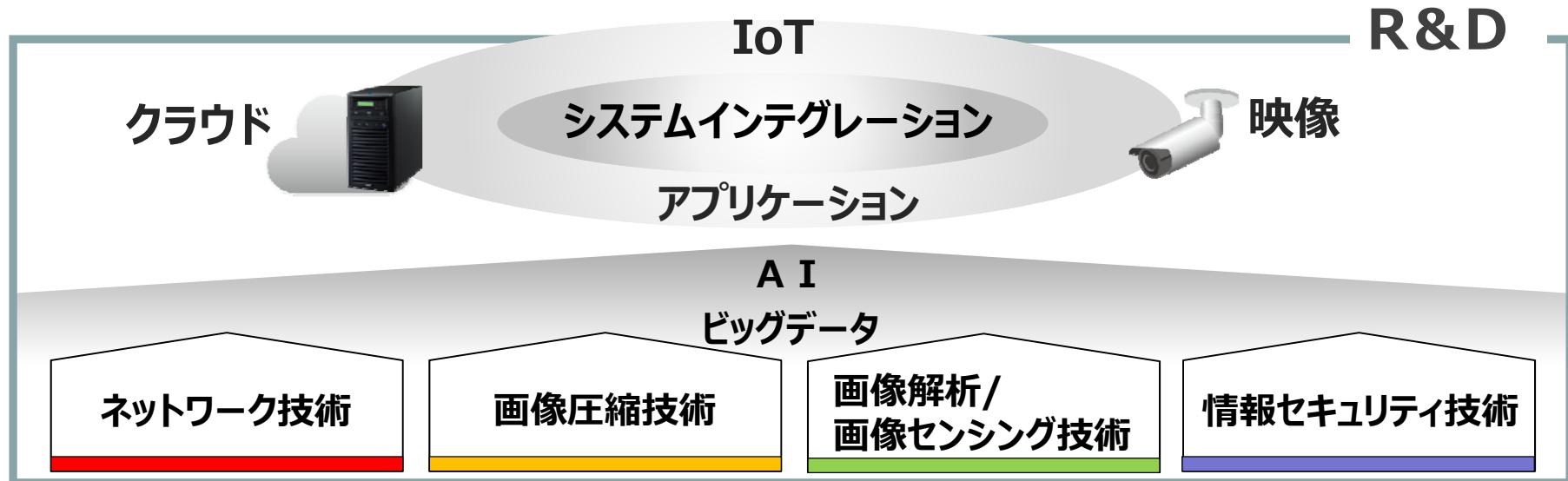
1. 持続成長可能な事業への転換の取組み

集中事業の推進加速と新規事業の創出

クラウド、IoT、映像等の展開による事業創生/集中事業への商品サービス供給
クラウドサービスを活用した新たなビジネスモデルとしてストックビジネスの確立

新たな価値創造する
製品/サービス

お客さま要望



集中事業分野の既存技術





1 - 2. 集中事業の推進加速（オフィス市場）

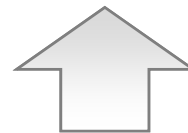


1 - 3. 集中事業の推進加速 (システムインテグレーション事業)

提供する市場

システムおよびサービスをワンストップ提供

 <p>キャリア VoIPネットワークセキュリティ コールセンタ</p>	 <p>企業 VoIPネットワークセキュリティ データ連携サービス</p>
 <p>文教 情報セキュリティ カードシステム</p>	 <p>公共 自治体住民サービス (道路管理サービス) ナンバー認証</p>



**オープンイノベーション
パートナー協業連携**

提供するソリューション

IoTや映像のシステムインテグレーション

+

VoIPソリューション	ネットワークインテグレーション	データ連携ソリューション
--------------------	------------------------	---------------------

1 - 4. EMS/DMS事業の取組み

部品調達、金型、樹脂成形、基板実装、組立て、物流、修理までの生産一式を国内生産によるサクサ品質でワンストップ提供いたします

生産設備

サクサ品質

提案型ファクトリー

柔軟な生産体制

ワンストップ提供



2. 「経営基盤の強化」に向けた主な取組み

1. 事業の効率化	<ul style="list-style-type: none">・事業構造に見合った経営資源の最適化・事業構造の変化にタイムリーに対応し、より効率的な事業運営
2. 財務体質の強化	<ul style="list-style-type: none">・資本効率を高めるとともに、開発および投資の効率向上・サプライチェーンマネジメント強化・棚卸資産の圧縮や保有資産などの見直し推進による資産効率の向上・有利子負債の圧縮
3. 要員の適正化	<ul style="list-style-type: none">・事業構造の変化に対応する人材の質的変換・人材の育成強化や事業転換に必要な人材の確保
4. コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none">・企業価値の最大化に向け、継続してコーポレートガバナンスの強化

3. 連結売上高予想

2017年3月期連結業績予想

オフィス市場向け展開やシステムインテグレーション事業拡大への取組みにより、11億円の増収を予想

(単位：億円)

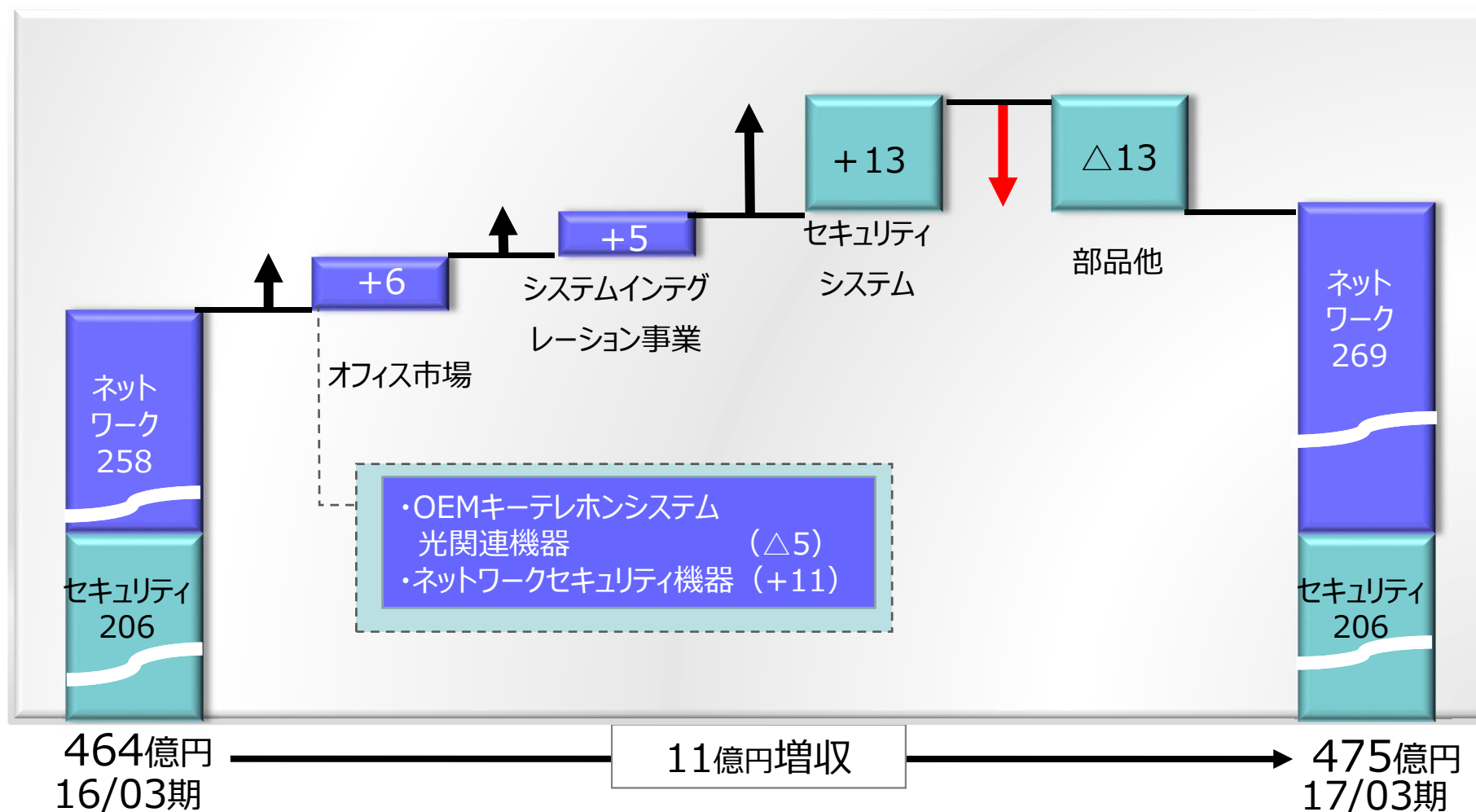
		16/3期実績	17/3期予想	増減	増減
		(A)	(B)	(B - A)	比率
	キーテレホンシステム	138	134	△4	△3%
	ネットワーク機器他	120	135	15	13%
ネットワークソリューション分野		258	269	11	4%
	セキュリティシステム	95	108	13	14%
	部品他	111	98	△13	△12%
セキュリティソリューション分野		206	206	0	0%
合 計		464	475	11	2%

3 - 2. 連結売上高予想の主な増減内訳

2017年3月期連結業績予想

アミューズメント市場の低迷により部品加工受託の減収はあるものの、オフィス市場向け展開およびシステムインテグレーション事業の拡大への取組みにより11億円の増収を予想

(単位：億円)



4. 連結損益予想

2017年3月期連結業績予想

事業構造の継続改善のための特別損失の計上はあるものの、当期純利益は4億円の増益を予想。増益に伴いROEは4%台に向上、配当は2円増配の5円を予想

(単位：億円)

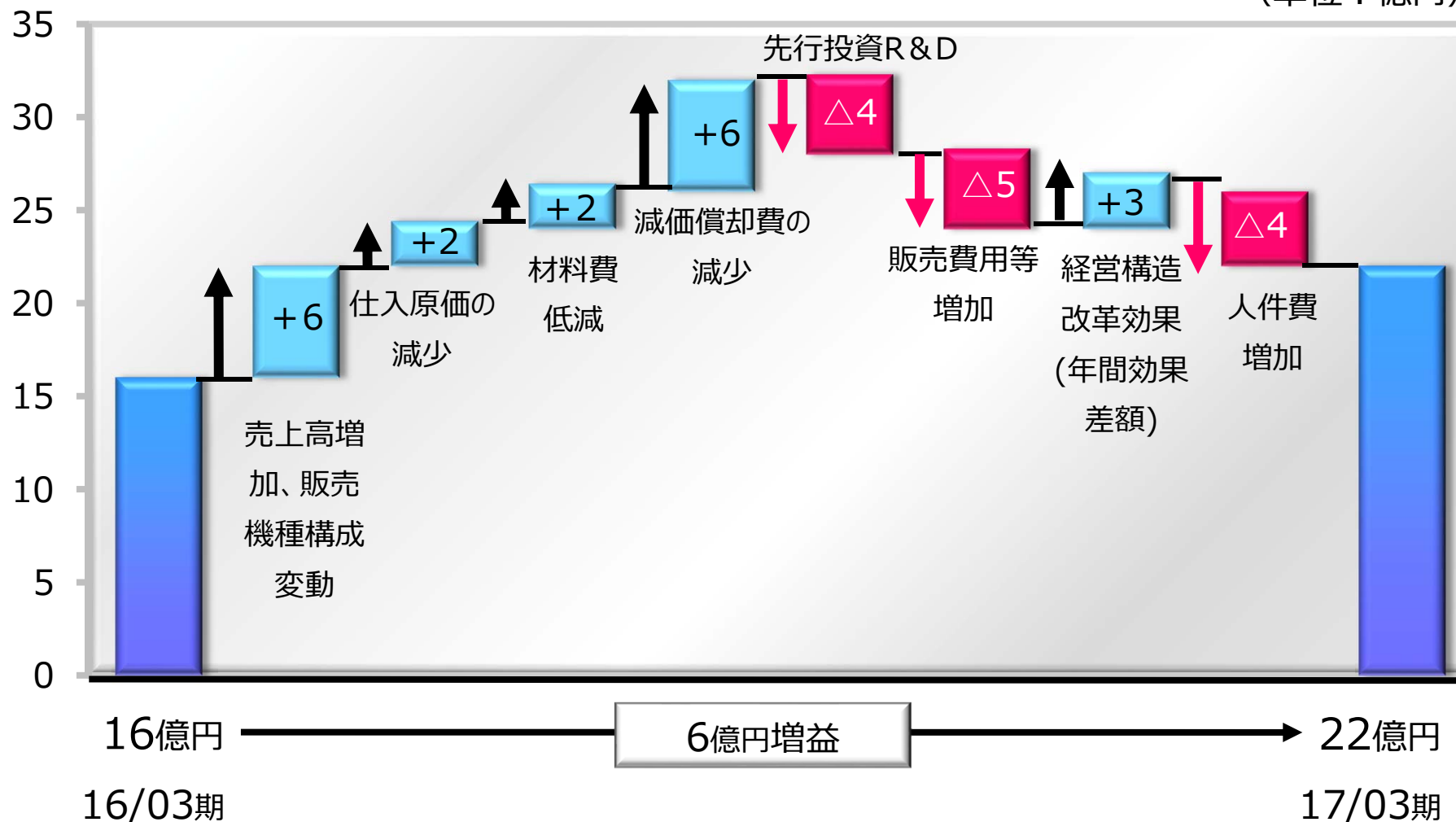
	16/3期実績	17/3期予想	増減	増減
	(A)	(B)	(B-A)	比率
ネットワークソリューション分野	258	269	11	4%
セキュリティソリューション分野	206	206	0	0%
売上高	464	475	11	2%
営業利益	16	22	6	38%
経常利益	17	21	4	24%
当期純利益	5	10	4	100%
1株当たり当期純利益	8.86円	16.17円	—	—
ROE	2.3%	4.2%	1.9%	—
配当	(予定) 3円	(予想) 5円		

4 - 2. 連結営業利益予想の主な増減内訳

2017年3月期連結業績予想

売上増加、販売機種構成の変動および経営構造改革等による増益を図るが
研究開発投資や人件費増加等経費の増加により利益を圧迫し、6億円の増益を予想

(単位：億円)



5. 投資計画

2017年3月期連結業績予想

新商品開発に伴うソフトウェア、金型等の投資や開発効率向上により先行投資枠を確保

(単位：億円)

	16/3期 実績(A)	17/3期予想(B)	増減 (B-A)
設備投資 (有形)	5	7	2
設備投資 (無形)	13	16	3
合計	18	23	5
研究開発費	51	47	△4
R&D	-	4	4
減価償却費	28	22	△6



コーポレートメッセージ

つなげる技術の、その先へ。

心地よい暮らし、つまり、
安心で安全、快適で便利な環境の実現に向けて。
つなげる技術を、さらにつなげていくこと。
それを、お客様の明日へとつなげていく、サクサです。